

義務教育学校等建設に 関する住民説明会



開催日時

令和8年6月27日(土)

28日(日)

両日とも 午後2時～



会場

鮫川村公民館
大集会室



対象

村民、保護者

※子ども同伴可

地域住民、保護者の皆さまなどに事業への理解を深めていただき、幅広い意見を求めることを目的に、建設計画の経緯、義務教育学校等の配置計画、予算等の説明を行います。

両日、説明内容は同じです。
申し込み不要です。直接会場にお越しください。

説明会の内容

- ① 義務教育学校等建設に係る進捗状況等について
- ② 予算（建設費用、村の負担割合）について
- ③ 今後のスケジュールについて
- ④ 意見交換、質疑応答
- ⑤ その他、村政全般に対するご意見等もお受けします。

新しい義務教育学校の特徴



9年間の学びのつながり

小中一貫した教育で、子どもたちの成長を切れ目なく支えます。



多様な学び、交流の場

多目的スペースや図書スペースなど、主体的な学びを促します。



地域とともにある学校

地域の活動や交流の拠点として、みんなに開かれた学校にします。

お問い合わせ

鮫川村教育委員会（義務教育学校等開設準備室）

TEL：0247-49-3151（平日 8:30～17:15） FAX：0247-49-3152

E-mail：kyouiku@vill.samegawa.fukushima.jp

子どもたちの未来のために、

新しい学校づくりを進めています

鮫川村では、少子化や学校施設の老朽化が進む中、将来を見据えた新しい教育環境づくりを進めています。村では、「子どもたちにとって何が望ましいか」を大切にしながら、義務教育学校の整備に向けて検討を進めています。

なぜ義務教育学校を整備するの？

① 子どもたちが安心して学べる環境を整えるため



- ・ 中学校校舎は築55年が経過し、耐用年数60年に近づいています。
- ・ 小学校校舎は敷地の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されており、増築による義務教育学校整備は安全面・建築規制面から困難です。
- ・ このため、児童生徒が安心して学べる安全な学校環境を整備します。

子どもたちが安心して学べる安全な学校環境を整えます。

② 少子化の中でも、より良い教育環境を維持するため



- ・ 村の人口減少に伴い、園児や児童・生徒の数が減っています。今は小学校が91名、中学校が55名です。
- ・ 少ない人数でも多様な体験や切磋琢磨できる学びの環境を維持していきます。

子どもたちが共に学び育ちあえる環境を守ります。

『現在の学校』と『義務教育学校』の違い

現在



小学校



中学校

進学時に環境が大きく変わります。

義務教育学校

1年生～9年生まで
連続した学び

9年間を見通して、子どもの成長を支えます。



学びの連続性



教職員連携



子どもの安心感

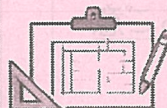
整備予定地は「青少年広場」です



村では、複数の候補地について、安全性、地盤状況、配置計画、事業費、将来的な活用可能性などを総合的に検討し、青少年広場を整備予定地としております。

今後のスケジュール

令和8年度



実施設計

令和9・10年度



建設工事

令和11年度



開校

村民の皆さまへ

義務教育学校の整備は、鮫川村の未来を担う子どもたちの学びの環境を整える大切な取り組みです。今後も、検討状況や整備内容について、分かりやすくお伝えしてまいります。

鮫川村教育委員会

担当:義務教育学校等開設準備室

電話:0247-49-3151

メール:kyouiku@vill.samegawa.fukushima.jp